

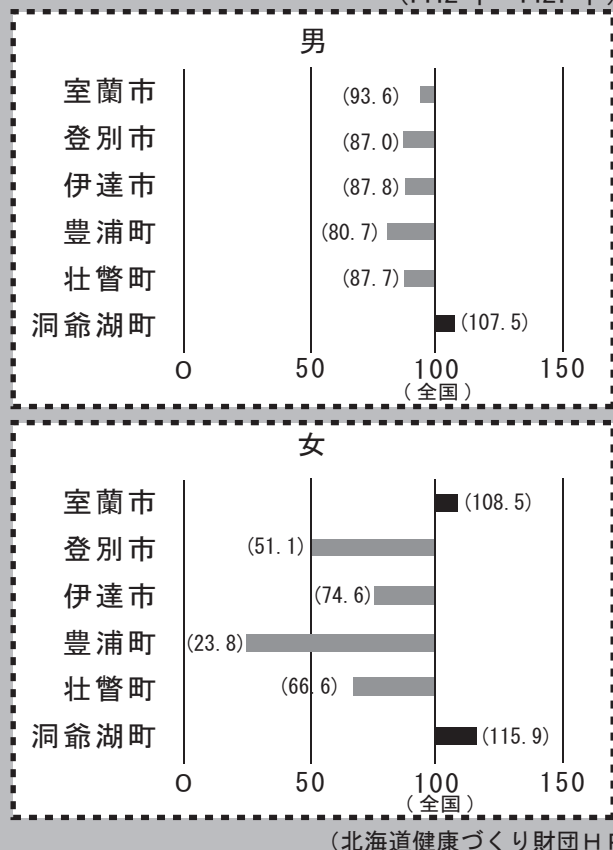
地域の支えで救えるいのち

ミニ特集

あなたのところは元気ですか

問合せ 健康福祉センター ☎76-4006

●西胆振の自殺標準化死亡比(SMR) (H12年～H21年)



洞爺湖町の自殺死亡比 全国基準上回る

毎年多くの命が自殺により失われています。

1月に警察庁と内閣府が発表した平成25年の全国の自殺者数は、2万7195人(速報値)となり、15年ぶりに3万人を下回った平成24年よりも663人減少し、北海道においても、前年より193人少ない1,244人と全体的に減少傾向にある

ことが明らかにされました。

しかし、いまだ約3万人近い人が、自ら命を絶っていて、昨年の数字から計算すると、1日あたり全国で約75人、北海道では約3人の方が自殺で亡くなっ

標準化死亡比(SMR)とは



全国を100(基準)とした時に市町村の死亡率が、その何%に当たるかを示したものです。

市町村別に、死亡数を人口で除した死亡率を比較すると、各市町村の年齢構成に差があるため、高齢者の多い市町では高くなり、若年者の多い市町では低くなる傾向があります。

このSMRを用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正しく地域比較を行うことができます。

ていることになり、交通事故で亡くなるより多い死亡者数となっています。

洞爺湖町では、平成24年に3人が自殺で亡くなり、最新の自殺の標準化死亡比(SMR)でも110.1(警察庁発表と全国の基準を上回っていて、特に若年者の自殺率が高くなっています。

自殺には、心や身体の問題、経済・生活問題などさまざまな社会的要因が複雑に関係しているとされており、当町においても深刻な状況が続いていて、大きな問題となっています。

